



▲GOOD ETHICAL OFFICEは8つのゾーンから構成。写真は「丘」。デスクを積み重ねて構築



▲マテリアルの情報をストックする「マテリアル」のゾーン

19年から働き方改革としてテレワークの促進を進めており、2021年3月には「第1回TOKYOテレワークアワード」で大賞を受賞しているが、この働き方改革推進に伴い、2020年12月に東京港区の本社オフィスを2フロアから1フロアに集約。オフィスで仕事をすることに新しい価値を創出するために本社のリニューアル工事を実施している。

このリニューアル工事では、従来の並列型固定席のオフィスに、ABW（アクティブベースドワーキング）が導入された。またエシカルデザインという観点で見ると、リニューアル前のオフィスで使用していたデスクや机などの什器や備品、使用済みのマテリアルサンプルや現場工事で使わなくなったカラーコーンの廃材などをリサイクル、リユースしたリ、ファニチャーやアート作品と

してアップサイクルし配置した。既存家具の約80%を転用し、廃棄量とコストの大幅削減にも成功している。例えば、ABWへのシフトにより大幅に廃棄される予定だったデスクを積み重ねて作った小上がりの「丘」のエリアや使わなくなった備品やディスプレイ、サンプルなどの廃材で作ったアート作品などは圧巻だ。まさに「随より始めよ」を体現した取り組みと言えるだろう。なお、この「GOOD ETHICAL OFFICE」は日本空間デザイン賞2021でサステナブル空間賞も受賞している。

エシカルデザインによる家具を学生レジデンスに実装  
エシカルデザインを取り入れた一例が、東急不動産(株)の学生レジデンス「キャンパスヴィレッジ大坂近大前」のプロジェクトにおいて

て、オリジナル家具を実装した取り組みだ。具体的には【1】岐阜県飛騨市を拠点とする(株)飛騨の森でクマは踊るの協力のもと、飛騨の広葉樹を活用した家具を製作。既存の木材流通では家具になりにくい部分をあえてデザインとして生かすことで、森林資源に新たな価値を与え、森林の持続可能な循環を促進。例えば、薪用として流通するはずだったシユリザクラの大きな塊を利用した切り株テーブルや、トチの木を枝分かれ部分を脚に使ったテーブルなどを配している。

【2】(株)モノファクトリー協力のもと、本来の役割を終えて廃棄されてしまうモノを資源として活用する「アップサイクル家具」を製作。例えば工事現場で使用していたケールドラムの丸テーブルなどを共用部に配置している。

さらに【3】1階の共用空間全体をバーチャルギャラリー化し、来にやさしい空間を」というミッションと「GOOD ETHICAL COMPANY」一気のあうエシカルな仲間たち」というビジョンを策定している。

「様々な企業様がそれぞれ課題を抱えてらっしゃると思います。エシカルデザインに取り組みの中で、つながり、協業することで解決の糸口が見えてくるケースが多いと実感しています。我々は空間創造事業を行なっていますので、様々な企業様とも関わりを持ちあう企業だと考えておりますし、今後も様々な企業の皆様とともに、課題解決に取り組んでいけたらと思います」(神戸氏)



▲キャンパスヴィレッジ大坂近大前の1階ラウンジ。随所にエシカルデザインのオリジナル家具が配される



▲国産木や廃材を使ったテーブル。素材の特徴をデザインとして活かしている



GOOD ETHICAL OFFICE。随所にエシカルデザインの取り組みが見られる



### 空間創造事業のトップランナーが追求するエシカルデザインと未来にやさしい空間

(株) 船場

大規模商業施設を中心に、空間創造事業をグローバルに展開する(株)船場。同社では循環する社会の構築を目指す取り組みに力を入れており、2021年からはETHICAL DESIGN (エシカルデザイン)を提唱。その実現に向けて様々な取り組みを進めている。同社が提唱するエシカルデザインは、単に自然環境に配慮したデザインというだけではない。「多様性への配慮や少子高齢化対応のエコシステムの再生、ICT・AIといった先端テクノロジーの実装など、空間創造を通じて様々な社会課題を解決し、持続可能な循環の仕組みで未来を共創していくというのが私たちが挑戦するエシカルデザインです」(同社執行役員 エシカルデザイン本部長 ゼロウェイスト推進室長 神戸氏)とのことで、まさに持続可能な未来を目指す取り組みでもある。



▲同社執行役員でエシカルデザイン本部長ゼロウェイスト推進室長の神戸氏

また同社では「SUCCESS PARTNER」という企業理念をベースに2022年〜2024年の「中期経営計画2024」において「未来にやさしい空間を」というミッションと「GOOD ETHICAL COMPANY」一気のあうエシカルな仲間たち」というビジョンを策定している。本社の取組みの一例が、資源循環型リノベーションサービス「CIRCULAR RENOVATION」の提供。小誌2021年6月号で詳述の(株)ナカダイ・(株)モノファクトリーと業務提携し、スタートした取り組みで、資材の調達から内装施工時に排出される産業廃棄物の削減と再資源化を一元管理するサービスだ。リノベーションを行う際の素材の選定や、発生する産業廃棄物について重点的に分別を強化することにより、廃棄物そのものの削減とリサイクル率の向上を実現し、施工時だけでなく、施工前後のCO2削減を狙いとす。デザイン・コンストラクションの双方からアプローチする「6R (リタート/リユース/リサイクル/リセレクト/リデザイン/リノベート)」を実行するビジネスサービスとして提供が進む。具体例が、船場本社の全面リニューアル「GOOD ETHICAL OFFICE」だ。同社ではコロナ禍以前の20

本社の取組みの一例が、資源循環型リノベーションサービス「CIRCULAR RENOVATION」の提供。小誌2021年6月号で詳述の(株)ナカダイ・(株)モノファクトリーと業務提携し、スタートした取り組みで、資材の調達から内装施工時に排出される産業廃棄物の削減と再資源化を一元管理するサービスだ。リノベーションを行う際の素材の選定や、発生する産業廃棄物について重点的に分別を強化することにより、廃棄物そのものの削減とリサイクル率の向上を実現し、施工時だけでなく、施工前後のCO2削減を狙いとす。デザイン・コンストラクションの双方からアプローチする「6R (リタート/リユース/リサイクル/リセレクト/リデザイン/リノベート)」を実行するビジネスサービスとして提供が進む。具体例が、船場本社の全面リニューアル「GOOD ETHICAL OFFICE」だ。同社ではコロナ禍以前の20